



見守りから広げる 片倉




■ 地区概要

- ・地域に根差した魅力的な行事が多く、顔見知りになるきっかけになっている。
- ・防災イベントでは消防署、消防団、小学生が地域に加わり、とても充実している。
- ・交通機関、公園、医療機関、学校等へのアクセスがよく、住環境のバランスがよい。
- ・自治会町内会が率先してまちの美化の取組を行って、まちがきれい。
- ・畑もあり、地場野菜が買える販売所がある。

■ 人口・世帯数等の概況(令和7年3月現在)

	片倉地区	神奈川区
総人口	14,292 人	246,217 人
0～14歳	1,721 人(12.0%)	25,804 人(10.5%)
15～64歳	9,370 人(65.6%)	166,678 人(67.7%)
65歳以上	3,201 人(22.4%)	53,735 人(21.8%)

	片倉地区	神奈川区
総世帯数	7,176 世帯	136,040 世帯
平均世帯人員	1.99 人	1.81 人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	1,068 世帯 (14.9%)	19,239 世帯 (14.1%)



神奈川区
片倉地区概況データ



レアリア かながわ支え愛プラン
(レアなエリアご近所情報サイト「レアリア」に地域活動などを発信中)



これまでの取組

見守りのある環境を目指す片倉では、目標ごとに、以下の様々な取組を行ってきました。

- 目標1： 防災七夕まつり、防犯パトロール、防災備品の調達、防犯カメラの設置、スクールゾーン
- 目標2： かたくらんど、すくすくかめっ子、とこピン(移動支援)、かたくら茶房、認知症カフェ、ふれあい活動、認知症サポーター養成、かたくらフードパントリー
- 目標3： 亀のつどい、お楽しみ会、交流祭、運動会、片倉ウォークラリー

目標と取組

誰もが(障がい児・者、ひとり親家庭、生活困窮者、外国人、ひきこもり、認知症の方、その家族の方など)安心して暮らせるまちにするために、「見守り」をキーワードに、以下の内容を取り組みます。

目標1 見守りから広げる「安心できる」まち

- ① 防災意識の向上(食料等の備蓄品の確保及び呼びかけ、防災マップの確認、発災時の連絡手段の確認など)
- ② 災害時に対応できる支え合いの仕組みをつくる(情報の把握・発信)
- ③ 防犯に対する備えを充実させ安心した生活を定着させる



防災七夕

目標2 見守りから広げる「支え合う」まち

- ① 日頃から挨拶をかわし、隣近所の顔が見える誰もが元気で住みやすい環境をつくる
- ② 集いの場を活用し、赤ちゃんから高齢者まで、支え合う輪を広げる
- ③ 地域に住む誰もがお互い様の気持ちで、孤立しない地域をつくる(移動支援、買い物支援など)



移動支援(とこピン会)

目標3 見守りから広げる「つながり合う」まち

- ① 若い世代が地域に参加出来る機会を増やす仕組みをつくる
- ② 転入者の方や自治会未加入の方にも、地域への興味を増やすためインターネットの活用など情報の発信に工夫を加える
- ③ 赤ちゃんから若者まで、元気な『かたくらっ子』を育てよう



こどもの居場所(かたくらんど)